

令和7年度学校評価の振り返りと今後の対応について(資料②)

大田市立第一中学校

学校経営の基本方針	取組の重点	取組と成果	課題と今後の対応
<p>経営基盤</p>	<p>学校施設教育目標</p>	<p>○学校経営において大切にしたいこと、めざす生徒像について、わかりやすい言葉で端的に伝えるようにしてきた。適宜、生徒会の取組や全校の行事に対する思いと同じ歩調になるようにと考え、経営を進めた。生徒会の「繋ぐ～同心協力」「動心」といった言葉の魅力と頑張りにより学校経営が支えられることが多かった。</p> <p>○昨年度に引き続き、視覚環境の整備に努めた。絵や言葉の豊かさを意識した掲示や健やかな体と心を育むための大切な情報の掲示を校内に増やすことができた。足を止めて生徒が見入る姿があった。また、今年度も生徒の描くデコレーションやポスターが校内の雰囲気を高めてくれた。</p> <p>○安全点検を定期的に行い、早期の修繕に努めている。使いにくいとの声がよくあがるトイレについては、生徒の整美委員会の頑張りがあり、定期的に床がきれいにされており、以前より衛生面で各段に向上している。</p>	<p>○学校だよりやホームページの更新についてはおおむね肯定的な声をいただいているが、今後も定期的、計画的な啓発を続け、保護者、地域の方との連携を深めていきたい。</p> <p>○耐震性について不安を感じる声を毎年いただいている。本校の校舎は耐震化の工事は終えているものの、今年は山陰地方でも地震が頻発した状況がある。また、災害が多い国内状況もあるため、避難訓練についてはより機動性のあるものとしていきたい。本校は避難所にも指定されており、外に出る避難だけでなく、校舎内でどう災害から身を守るのかといった視点でも訓練を考えていくこととしている。</p>
	<p>一人ひとりが安心して過ごせる学校</p>	<p>人権教育の推進</p> <p>○今年度もPTA活動や専門機関との連携により、様々な人権課題について考える機会ももてた。また、様々な視点で人権について関心をもって考えられるよう、「ミニ講話」を人権週間に継続して実施し、生徒たちからはおおむね好評であった。今後も様々な人権課題を「自分のこと」として、考えていくことを工夫し、日頃からの啓発とわかりやすいメッセージの両輪で人権教育を推進していきたい。</p> <p>○各学年で集会を定期的に行い、生徒が進行するようにしている。その中で、「生徒の聴く態度」「時間を守る意識」が大変向上している。このことは、一人一人の人権感覚にもつながることでと考えている。</p> <p>○生徒会の各委員会が様々なチェックを行い、主体的な取組により、学校生活をよりよいものになろうと努力をしてくれ、この雰囲気校内に広がっている。</p> <p>○今年度も各種アンケートや教育相談、「きずなノート」等を通して、いじめや人間関係のトラブルの早期発見に努めた。「教職員と一緒に考えてくれる」という項目に対しておおむね肯定的な回答を得ているが、人間関係に悩みを抱える生徒もいる。今後も日常的な取組を大切にしていきたい。</p> <p>○ポスター、看板、たより等を工夫して、見える形でつながりを高めていこうとする生徒会の取組が今年度も行事等の満足感につながっていた。</p> <p>○睡眠に関する啓発、研修を行っている。「睡眠は大切」との意識は広がっているが、SNS等のネット利用時間を考えて生活を見直す生徒自身の実行性はアンケートの回答を見ても十分ではない。引き続き、小学校とも連携を図り、睡眠教育を進めていきたい。</p>	<p>○保護者のアンケートの回答からは子どもたちのSNSの使い方に課題が見られると考えておられる様子があるが、生徒たちはそうは思っていないとの実態がある。しかし、実際にはSNSに端を発したトラブルは起きている。SNS上のトラブルは、学校外で起ることが多く、指導に苦慮している。生徒自身の「情報モラル」と「SNS上で書いてよいこと悪いことを見極める人権感覚」が重要であると考えている。学校でも予防的な指導と啓発を継続していくが、ご家庭においても子どもたちのSNS上の世界と一緒に見ていくことを願いたい。</p> <p>○教職員の生徒への言葉について、肯定的な声と同時に課題を感じられるとの声もいただいている。生徒たちを思う気持ちが伝わる言葉を校内でも研鑽して考えていきたい。</p> <p>○登下校中のマナーに関する課題に複数の声をいただいた。学校でも継続的な指導や声かけを行い、広く啓発も行っている。生活委員会の生徒が登校路に実際に立って危険性を訴える動画も作成して全校で見ている。しかし、継続して課題を感じるとの声をいただいている。校内でも指導や研修を継続していくが、校外に出てしまうと限界もある。ぜひ、ご家庭でも「自分のこと」として、交通マナーの大切さ、命に関わる危険性等、指導をお願いしたい。</p> <p>○生徒会の生徒全員で活動をして学校生活をよりよくしていこうとする意識が広がってきている。今後も特に行事等は生徒会と連携を図り、主体的、自立的な取組となるようにしていきたい。</p> <p>○教室に入りにくい生徒のための支援について少しずつ広がってきているが、もっと多様な学びの形態を整えていきたい。生徒の本人の願いを理解しながら、保護者の方と連携を図っていきたい。</p> <p>○体操服の名札について、曖昧になっているのご意見をいただいている。ゆずり受けられた体操服の名前を刺繍し直しておられるご家庭もあり、感謝している。本校のように大人数の学校で授業で出会う教員もいる中で、名前がすぐにわかることは危機管理上大切なことである。そこで、リユースされた体操服については、刺繍まではされなくても名前を貼られる等をして、名札替わりとなるものを準備していただきたい。</p>
<p>「活力」と「学力」未来に向かって生きていく自信づくり</p>	<p>高意欲あふれる諸活動への満ちた学校</p>	<p>確かな学力の育成</p> <p>○授業に関してはおおむね「わかりやすい」との肯定的な回答を生徒から得ている。今後も全教科で授業公開をし、授業力向上に努めていきたい。また、タブレット端末活用をより進め、生徒たちが主体的に学べるスキルや意識を高めていきたい。</p> <p>○どの学年も提出物はきちんとしようとする意識がある。しかし、自ら家庭で自主的に学ぶところまで高まっていない。どう学ぶのかをもっと例示していく必要がある。同時に家庭での時間の使い方について考えさせたい。</p> <p>○今年度も基礎テスト(国・数・社・英・理)を定期的に行っている。このテストへの取組への意識が高いところで定着している。</p> <p>○読書離れが進んでおり、文章を最後まで読み進めることが難しい実態がある。図書館活用を進め、生徒たちのリクエストに応じて図書館の本も選定している。そこで、今後は朝礼前の「朝読書の時間」に時間いっぱい、文章を追えるように指導していきたい。</p>	<p>○決められた課題については、大半の生徒がやり遂げている。そこで、自ら学んでいく力が求められている今、決められたこと以外に自主学習ができるようになることが大切である。このことに例示しながら指導をしていきたい。</p> <p>○文章を最後まで追って理解する力が定着しにくい状況にある。読書の時間を校内で確保していくが、ご家庭でも「本がある環境づくり」にお力をいただきたい。</p> <p>○保護者さんの回答から、将来について考える様子が家庭では見えにくいことがわかった。系統的なキャリア教育により、自己理解を深め、長所を子どもたちが見つけていく振り返りを行ってほしい。また、全体的に言葉で表現することが苦手な傾向にあり、まずは毎日の「きずなノート」に自分の思いや生活を書くことの指導を継続し、自分が語れるように応援していきたい。</p>
	<p>地域と共に歩み、地域から信頼される学校</p>	<p>家庭・地域との連携、協働</p> <p>○昨年度から節約による保護者負担の軽減、時間を問わずに連絡ができること等から、ペーパーレス化、欠席等の連絡の電子化等を進め、夕方の遅い時間は留守番電話対応とさせてもらっている。このことが定着してきており、保護者の方のご理解に感謝している。</p> <p>○成績処理、諸帳簿の管理、会計処理については、校内でチェックできる体制を整え、適切に行っている。この体制を引き続き、整えていきたい。</p> <p>○参観に行った際に人数が少なく入りにくいとの声があり、それ以降、土日を中心に「学習公開日」を設定している。学年を問わずに多くの保護者の方の来校があり、おおむね肯定的な声をいただいている。</p> <p>○地域と共に行う活動については、定着してきたものや地域ごとで直接子どもたちに声をかけてくださるものもある。参加については個人差があるものの、一中生と地域の方が協働する機会が徐々に増えている。</p> <p>○部活動については、地域移行が徐々に進んでいく過渡期であり、送迎等も学校ではなく、保護者をお願いするようになってきている。このことについて保護者会等を中心に対応していただいている。</p>	<p>○学習公開日については、直前にも周知を行っている。今後も日程を工夫し、多くの保護者の方に子どもたちの様子を見ていただけるようにしたい。</p> <p>○体育館シューズをひもで学年がわかるようにしてリユースできるようにしてはとのご意見を昨年度いただき、令和8年度からそのようにしていく。制服等も含めてリユースのしやすさ等を考えながら、今後も改善できることはしていきたい。</p> <p>○体育祭の時期の暑さを心配される声をいただいた。来年度は、今年度よりも一週間遅らせて、9月の最終週の火曜日を予定している。一昨年度よりは2週間遅い実施ではあるが、熱中症対策には今後も力を尽くしていきたい。</p> <p>○メールを活用して行事や必要な情報を発信することに肯定的な声をいただいている。メールの登録についてお手数をおかけするが、今後も同様の形で情報発信に努めていきたい。</p> <p>○次年度より教職員の時間外勤務の削減が国の方針としてより一層求められ、子どもたちのためにも教職員の安定した働き方を確立していく必要がある。このような状況の中、土日も含めた部活動に関わる時間の累積が時間外勤務となっている現状がある。部活動のあり方の見直しや保護者の方への説明と理解を図ってほしい。</p>